

8月の活動内容報告

ビーバー(BVS)隊



8/7 体験活動を経て、さらに1人の新しいお友達が入隊式を行い、ビーバースカウトになりました。これでスカウトは8名になりました。仲間が増えるのはうれしいですね。外で遊びたいというお友達もいましたが、暑いので室内活動に。涼しくなるためには何があるといいかな?ということのでうちわを作りました。まずは紙に絵を書いてそれをスポンジに写し切り取ってスタンプに。そのスタンプをうちわ型の紙に押し、回りに絵を書くと、オリジナルのうちわが出来上がりました。



8/28 体験活動・夏

夏季家族キャンプを経て、さらに新しいお友達が2名、入隊式を行いビーバースカウトになりました。これでスカウトは10名になりました。お友達の輪が広がっています。集会のメインはこれからハイキングの季節になるのでハイキングで使えるシートポンを作りました。「ポンダ、ポンダ・・・」とおまじないをかけて一人一枚。ハイキングで使う日が来るのが楽しみです。



カブ(CS)隊



8/7 皆、カブ隊のキャンプは初めて。どんな忘れ物が発生するか気になります。そこで、今回の集会では荷物点検を行いました。キャンプの持ち物すべてをリュックに入れて持ってくるのは重くて、なかなか大変。果たして、当日はみんなリュックを背負って歩けるのでしょうか。そのあとは、キャンプファイヤーでの出し物で何をやるのかをみんなで考えました。

8/28 夏のキャンプの振り返りということで、キャンプ中の写真を見ました。自分が写っている写真に一喜一憂しながら、楽しかったことを思い出しました。そのあとは、もみじ山公園で、ネイチャービンゴ。まず、それぞれの組で、珍しそうな自然の物9種類を探して台紙に貼りました。次に、それを交換して、相手の組が見つけた自然の物と同じ物を探しました。どちらの組も7種類同じ物を見つけました。もみじ山公園にも自然の宝物はいっぱいありますね。

ボーイ(BS)隊



8/21 この日の班集会は1年間の中で重要な、班長・次長決め、そして年間(9月~3月)プログラム作成を行いました。上班と隊付の二人も円滑な話し合いができるよう、協力してくれました。協議の結果、班長はK君に決定。しかし次長は、長い話し合いにもかかわらず決めることができませんでした。次回以降の集会に持ち越しです…。年間プログラム作成は、それぞれの進級目標を達成するため細かく計画を立てました。計画通りにできるよう、新しい班編成で協力して行ってほしいです。

ローバー(RS)隊



8/11-16 Nさんが日本連盟主催の第12回日本アグーナリー(12NA)に運営スタッフとして参加しました。日本アグーナリーとは、障がいのあるスカウト(特別な配慮を必要とするスカウト)が集い、海外を含めた多くのスカウトたちとのキャンプ生活を通じて、スカウト仲間としての心の触れ合いと共通体験の中から、明るい希望を持って積極的に社会生活に参加することを目的に、4年ごとに開催される全国キャンプ大会です。第8回大会までは、障がいのあるスカウトの大会としていましたが、第9回大会では、単に障がいのあるスカウトのためだけの大会ではなく、参加するすべてのスカウト・指導者が、期間中の諸活動を通じて共に生きることを学ぶ「学習の場」とし、第10

回大会以降は、障がいの有無や老若男女にかかわらず、相互に人格と個性を尊重し支え合う「共生する社会」を実現するという社会のニーズに応えることを目指しています。Nさんは活動サービスセンター全体行事班に所属し、開会式や閉会式などのステージで行うイベントの運営、司会等を行いました。



<http://www.scout.or.jp/12na/>

8/16-18,23 Nさんが日本アグーナリーから引き続きそこに参加していたアイルランドからの参加隊スカウトと一緒に三島に行き、三島のお

祭りに行ったり、流鏝馬を見に行ったり、三島市長への表敬訪問、バーベキューを行いました。18日には神奈川県に移動し、小田原城見学、日本のスカウトと共に餃子パーティを行いました。アイルランドのスカウト達とは、2年前に日本連盟主催の「平成27年度アイルランド英語研修・キャンプスタッフ派遣」で5週間現地に滞在した縁があります。

8/24 Nさんが東京連盟ローバー100kmハイクの第2回実行委員会を行いました。

8/27 あすなろ地区ローバーの定例会に参加しました。10月、11月の活動案がたくさん出て、実現に向けて計画を進めています。

8月夏季キャンプの活動内容報告

ビーバー(BVS)隊 夏季家族キャンプ舎営



8/12 中野から電車とバスを乗り継ぎ、千葉県長生郡長柄町にある千葉市少年自然の家に向かいました。少年自然の家に着いて、

芝生の上で一休みしているとバッタがピョンピョンとんでいます。そこから虫かご作りと虫取りのプログラムが始まりました。そのあと網と手作りの虫かごをもって場内の探検をしました。

田んぼや池があり、畑ではキウイフルーツやナスが実をつけていました。セミだけでなくウシガエルの鳴き声が聞こえる環境でした。夜は保護者の方の作ったハヤシライスを食べました。



そのあと懐中電灯を片手に猛獣を探しました。もちろん本物ではありません。ログハウスで初めての寝袋に入ってぐっすり寝ます。

8/13 2日目は、午前中は家族の時間。工作をやったり、フリスビーをしたりと思いつきの時間を過ごしました。午後はボーイ隊のキャンプ場までのハイキング。途中で通った緑のじゅうたん、木の彫刻ハウスには感動しました。暑くて長い道のりでした。

がみんな最後まで頑張りました。キャンプ場に着いたらボーイ隊のお兄さんからサイトの説明を受けました。スカウトも保護者の方も興味津々、テントをのぞき込んだり、質問したりしました。夜はキャンプファイヤーです。ビーバー隊のスタンツはアクションソング「カレーライス」披露。事前練習で歌詞も振付けもしっかり覚え、大きな声で上手にできました。保護者の方々もアクションソング「コンパクト」でノリノリでした。

8/14 最終日。午前中は晴天の元でどろんこ体験です。



いつもはダメと言われるようなことだけど、



今日のこの日は大丈夫、みんな全身泥だらけになって遊びました。泥水の中で泳いだり、走ったり、泥だまを投げたり、泥水の中の生き物探しもしました。帰りのバスの中ではみんなぐっすり寝ました。怪我も病気もなく、みんなで仲良く過ごすことができよかったです。

カブ(CS)隊 夏季キャンプ舎営



8/11 今年のテーマは、「中野8団カプリンピック-リオより熱いぞ-」。オリンピック競技種目を模した、さまざまな種目に組のみんなでチャレンジし、

勝敗を競います。中野から電車とバスを乗り継いで、更に重い荷物を背負って30分近く歩いてやっと、目的地の少年の家に到着しました。開所式の後の最初の作業は、「選手村」建設！段ボールを使って家(デン)を作りました。次は「会場視察」！端から端まで歩く



と30分以上かかるほど広い、少年の家の敷地内をオリエンテーリングでぐるっと見て回り、

どんな施設があるのかを確認しました。

8/12 2日目からはいよいよ競技開始、まずは「射撃競技」！です。射撃は道具(竹製水鉄砲)の制作から始まりました。そして、どちらの組が早く遠くの的を撃ち抜けるかの「ライフル射撃」、相手組の頭に付けた的を撃ち落とす「クレー射撃」の2種目を行いました。結局是水鉄砲合戦ですから、もちろん終わった後は全身びしょびしょです。



8/13 3日目の午前

は「乗馬」の準備の為、牧場へハイキング。今回は馬を見るだけでした。午後は「シンクロナイズドスイミング」！近くの町営プールで、ベンチャースカウトのお姉さんの指導の元で演技のはずが、水の魅力に負けて只の水遊びに……。夜は、「閉会式(カーニバル)」！近くで野営をしていた、ボーイ・ベンチャー・ローバーと、遊びに来たビーバーを合わせて盛大なキャンプファイヤーを行いました。

8/14 最終日の競技は、閉会式の後となってしまいましたが、花形の「陸上短距離走」！といっても、トラックは田んぼの中です。腰まで泥水に浸かって田んぼの中を全力疾走。わずか10m弱の距離でも、足を取られてなかなか進めません。転んだり、撥ねたりで、リーダーをはじめ全身泥だらけになりました。



そのほかにも、ナイトハイクや野外炊事など盛りだくさんのプログラムを体験しました。日中の暑さを考慮して、正午は木陰で休む、水に触れるプログラムを多く取り入れるなどの工夫や、東京と比べると湿度の低い気候のため、熱中症などの病気や怪我もなく、4日間元気いっぱい活動ができました。

ボーイ(BS)隊



8/11-14 今年のボーイ隊夏季キャンプは3泊4日で、千葉県長生郡長柄町の勝古沢キャンプ場で5名のスカウトが参加して行われました。





8/11 キャンプ初日は設営。テント・フライ・立ちかまどを夕ご飯までに設営しないとイケません。しかし、先日のキャンプ、野外隊集会で培ったスキルのおかげであっという間に設営を終わらせました。初日の夕ご飯はカレーライス。こちらは火起こしに時間がかかっており苦戦していました。夜はナイトゲームを行い、初日を楽しく終えることができました。

8/12 キャンプ2日目。この日は野外工作。まずは材料となる竹の伐採です。キャンプ場のすぐ近くにある竹林に行き、スカウトだけで竹を切り、調達しまし

た。その後、事前に計画した食器台作りに取り掛かりました。立かまどよりも難しいのにもかかわらず、丈夫で使いやすい食器台が完成しました。また、初日とは違い、夕食のご飯と生姜焼きがとてもうまく料理できていたのが印象的でした。

8/13 キャンプ3日目。この日は朝からハイキング。出発前に地図を確認し、決めたルート通りに行くはずでした…、が、途中でコースを変えてなぜか違うルートへ。おかげでチェックポイントで待機していたVSスカウトが熱い中待ちぼうけ…。読図はまだまだ訓練が必要みたいです。夜は他の隊と一緒に流しそうめんを食べました。ビーバーやカブのために流しそうめんを流して楽しませていたのが印象的でした。その後はキャンプファイヤー。スタンプではキャンプでの活動風景を題材にしたスタンプを披露していました。3日目にもかかわらず、でキャンプファイヤーを楽しんでいました。



8/14 キャンプ最終日。朝からの設営後、キャンプの閉所式を行いました。4日間お世話になったオーナーに、次長からお礼として記念品をプレゼントしました。その後近くにある秋元



牧場に向かいお昼を食べました。お昼はなんとジンギスカン！しかもアイス付き(笑)。スカウトたちは大喜びで食べていました(野菜を食べろ！)。昼食後、少年自然の家に向かい全体の閉会セレモニーを行いました。そこで北川次長の2級章の授与式を行い、みんなの前で2級章を受け取ることができました。初めての長期キャンプだったにもかかわらず、元気に過ごしていたスカウトたちにはとても驚かされました。この4日間で大きく成長してくれたと思います。

ベンチャー(VS)隊



8/11-14 今回の夏キャンプでは3名のスカウトが参加しました。高一の2名(Fくん、Tくん)はBS隊キャンプの上班・隊付役として、高三の1名(Oさん)はCS隊にそれぞれ奉仕参加しました。これらは

事前のVS会議において、自身の個性や技能を考慮し、自発的に決めたものです。

8/11 野営地に到着すると、まずは、設営作業。班担当と本部担当に分かれ、いよいよ任務スタート。しかし、まだまだ慣れない役割なのでおぼつかない部分も。。。団委員や育成会員から厳しいダメ出しを受けてしまいました。た



だ、幸いなことに設営やプログラムが遅れる事もなく、ボーイ隊スカウトとの関係も良好であったため、夜の会議では隊長をはじめ副長の方から激励の言葉を頂きました。

8/12 ボーイ隊は竹の伐採とクラフト作成がこの日の主なプログラム。午前中はボーイ隊スカウトと共に活動参加しました。午後は副長補としてバリバリ頑張っているRS隊のOくんより、



『救急法』項目についてセッションを受けました。

8/13 この日よりOさんが参加。カブ隊のスカウト達とハイキングやプールを楽しみました。どうやら、カブの女の子達とはビーバーの時から仲で既に仲良しみたいです。夕方に野営地で合流すると、ワイ



ワイ＼(^o^)/と思いきや、、、全員お疲れモード。ところが、ファイアーではそれぞれ個性全開で、強烈なスタンツを披露してくれました。ファイアーを終えるとOさんはカブスカウトと舎営地に向けてナイトハイクに出発していき、FくんとTくんは野営地に残り、本部の撤営を開始しました。

8/14 最終日のプログラムをそれぞれ行い、自然の家で全隊閉所に臨みました。セレモニーの中で、Fくんは上級班長、Tくんは隊付に正式に任命されました。3人のスカウトにはキャンプの成果を基に、より積極的な奉仕や高度な活動に取り組むことを期待しています。

ローバー(RS)隊



8/11-14 Oくんが副長補としてボーイ隊キャンプに参加しました。今年の4月よりボーイ隊副長補に任命され、指導者になってからは初めての夏キャンプです。事前の下見や打ち合わせに積極的に参画し、プログラム(13日ハイキング)の立案に携わりました。現地でもその能力を存分に発揮し、クラフト作成、読図等についてスカウト達に指導しました。また、副団委員長よりキャンプファイアーでの点火方法について指導を受け、工夫を凝らして準備していました。さらに技術を磨いた知樹リーダーのおかげで、ボーイ隊の活動にますます深みが増しますね!!!



8月のスカウト進歩情報

BVS	R. K. くん	小枝章 2 本目
	I. T. くん	小枝章 1 本目
	N. N. さん	小枝章 1 本目
BS	R. K. くん	進級章 2 級



とびっくす

活動体験会

中野8団では定期的に「活動体験会・説明会」を行っていますが、今年はず6月を活動紹介強化月間とし、事前の周知のため、区内および近隣の各小学校に対して案内チラシの配布をお願いしました。多くの小学校で5年生以下の児童のご家庭への配布やチラシとポスターの設置を行っていただき、おかげさまでたくさんの方々にご参加いただくことができました。

6/5は、参加者の年齢に合わせて、ビーバー隊やカブ隊の普段の集会に参加してもらいました。保護者の方々にはボーイ隊やベンチャー隊の活動を見学していただいたり、活動の説明のほか、



ローバースカウトによる体験談にも耳を傾けていただきました。

6/19には、スカウト活動の醍醐味の1つである野外調理ハイキングを行い、かまどを使った野外調理を体験していただきました。この場でもベンチャースカウトやローバースカウトの支援を受け、若者たちのスカウトスキルや年少のスカウトへの対応を見ていただくことができました。スカウト活動を続けて成長した姿を

保護者の方に知っていただくことは、活動を理解していただく大きな手助けになります。その後、活動体験会参加児童には、7月以降のビーバー隊・カブ隊の集会にゲスト参加という形で参加を続けていただき、より活動を理解して頂いた上で入隊を決断いただいています。おかげ様で8月終了までに、ビーバー隊7名、カブ隊2名の新しい仲間が誕生し、さらに入隊を検討しているお友達がいます。中野8団では今後とも、団を挙げて募集活動を行っていきます。





活動で見つけたほのぼの話

夏のキャンプの最後のメインイベントはキャンプファイヤー。初参加のご家族も多かった今回は、基本的な要素を盛り込んだ内容にしました。夜が更けておごそかな気持ちで入場出来るようにキャンドルロード。ファイヤーチーフ(営火長)によるテーマ(今回はオリンピック)の説明と点火発令。火の玉が遠くから飛んでくる劇的な点火。その後は歌、踊り、ゲーム、スタンツ(寸劇)を、起承転結を意識して組み立てます。最初はおごそかに始まり、途中は楽しく歌い、踊り、時には叫び、そして静かな気持ちで終盤を迎え、再び営火長のヤーン(夜話)で締める。司会役のエールマスター(進行係)がプログラムを立て進行し、ファイヤーキーパー(火守り)は、その流れを認識して火の調整をします。ボーイスカウトのキャンプファイヤーは、大自然の中の夜に身を置くことでより自然を感じ、自己や仲間を考えることが出来るよう、それ自体も教育の一環です。とは言いながら、子供たちには盛り上がった、楽しかった歌や踊りが一番心に残るものなんですけどね～

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

リーダーの活動

- 8/21 ハイキング下見
- 8/25 特別地区委員会



- * 活動の写真はホームページにアップされています。
- * 個人情報保護の為パスワードがかかっていますので、隊長にパスワードをご確認の上、アクセスして下さい。
<http://members2.jcom.home.ne.jp/bsn8/>
- * Facebook アカウントをお持ちの方は、8団公式アカウント Nakanoeight BoyScout に友達申請していただくと、このアカウントで集約・限定公開している写真を随時御覧いただけるようになります。

スカウト豆知識

「制服」

スカウト活動には、さまざまなシンボルが用いられています。他の青少年活動とは違う独特のものです。いくつかのシンボルの中から特徴的な制服について紹介しましょう。

日本だけでなく、世界中のスカウトが制服を着ていますが、その歴史をたどると創始者ベーデン＝パウエル卿が軍務についていたときに描いておいた「野外で活動するとき、最も便利だと思われる衣服のスケッチ」から、スカウティングのあらゆる場面にふさわしく、健康的で、快適で、経済性を目指しているものとして多くの国々で適用できる服として案出されたものがベースとなっています。現在、世界中のスカウトの制服には、数多くのデザインや色が使われていますが、根幹をなしていることは次の通りです。

「スカウトであるというあかし」「世界のスカウトがそれぞれの環境や特性を生かしながら、同じ「ちかい」をたて「おきて」を守る兄弟として、仲間意識を体感して、強固にするため」「野外を主とした活動において、活発に活動できるようにするため」「制服を清潔に正しく着用すること、すなわち記章・標章を正しい位置につけ、身だしなみのよさや自尊心を養うこと」「社会のスカウト運動に対する信頼を、制服を着用することで高めるため」

このように「友情」「自信」「信頼」の象徴となる制服に多いに誇りを持ち、正しく着用することを心がけて欲しいと思います。

また、リーダーは「スカウトは制服を着ているときだけがスカウトではない」といわれるように、制服を着ている時と同じ気持ちが身に付き、スカウトらしい行動をいつもとれるようになって欲しい、という願いを持って指導に励んでいます。

制服は時代に即すように時々リニューアルが行われます。平成 28 年度から、約 20 年ぶりに新制服が導入されました。平成 30 年までの間に全スカウトが新制服に切り替わります。